

SGK 私学最前線

【開明】

100年の歴史と
伝統を受け継ぎ
未来へつなぐ新校舎

2014年に創立100周年を迎える同校。その100周年記念事業として建設中の新校舎が来年3月に完成予定です。明るい色を基調としたシンブルでモダンな外観の本館は、地下1階〜地上8階の高層建築。安全・安心な学校生活の確保を第一に考え、大きな地震にも耐えられる免震システムを採用し、屋上には太陽光発電システムと自家発電機を設置しています。「災害時には地域防災の拠点として避難所の役割も果たすことにな



新校舎への思いを語る
校長・早坂元実先生。

るので、地元の人々の期待も大きいです」（校長・早坂元実先生）
教室には間接照明を取り入れ、直射日光を遮る窓設計。加えて中高それぞれに専用の自習室が設けられるなど、学習に集中しやすい環境が整えられます。また、最新設備が導入された理科教室やコンピュータ室、音楽室などの特別教室、最上階の全フロアを占める体育館、屋上庭園、地下には生徒待望の温水プールなど、充実した教育環境が整えられます。
「ほかにも和室やクラシック音楽部専用の練習室など、新施設の誕生で学習の場はもちろん、部活動の幅も広がるはず。グラウンドには人工芝を敷き詰め、面積も広くなるので、「知」「徳」「体」ともに教育のグレードは確実に上がります」（早坂先生）
現在、既存の校舎で学ぶ中学生たちは、目の前で校舎の解体から建て替えられていくようすを目にしなが、「自分たちが新たな開明をけん引していくんだ」という使命感を感じているようです。

最新設備を整えた専門施設で 学びの幅が広がる環境を実現



本館地下に競技にも対応できる25m×6レーンの「温水プール」を新設。見晴らしのよい設計で生徒の状況が把握しやすく、事故なども防げる。「希望があれば、水泳部が創部されるかもしれません」（早坂先生）



本館8階は全フロアが「第2体育館」となり、グラウンド横にある第1体育館と併用することで十分なスペースを確保し、授業やクラブ活動の場も広がります。「来年から文化祭は2つの体育館が使えるので、発表の領域や内容が広がるはず。たくさんの方にも見に来ていただきたいですね」（早坂先生）



1階の「図書室」は6教室ぶんの広さがある最新の電子図書室。蔵書数は約4万冊にもおよびます。図書検索システムやDVD閲覧スペース、自習スペースを完備し、調べ学習などにも幅広く利用可能。



中学は本館2〜3階、高校は4〜5階に「教室」が並び、中高それぞれに専用の自習室も。ほかにも、最新設備を完備した「生物・化学・物理教室」「家庭科教室」「コンピュータ室」「技術室」「音楽室」「美術室」「視聴覚室」も設置。



5階に10畳の「和室」3部屋を設置。茶道や華道、着つけなどの授業に使われる。「本校には「かるた部」があり、とくに高校は競技大会で毎年優秀な成績をあげています。本格的な練習場が確保でき、さらに強くなることでしょう」（早坂先生）

CLOSE UP

中学に給食制度を導入し「食育」に取り組む

現在の2倍の広さになる食堂は、約250席が設けられ、中高生とも利用可能となります。また、中学では週4回程度の給食が始まります。育ちざかりの生徒たちの栄養バランスを考えながら、素材を厳選したおいしく安全な食事を提供。メニューは季節感あふれる郷土料理から定番のものまでさまざま、生徒や保護者の意見も積極的に取り入れていきます。

「給食をいただく場所は教室ですが『温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに』を原則に、従来どおり担任と一緒にいただきます。みんなで同じものを食べることで話題が共有できますし、食に関する正しい知識や食事マナーも身につけられるという「食育」の役割も果たしているのです」（早坂先生）



「屋外庭園」に面し、明るく開放的な雰囲気の食堂

校章を掲げたシンボルタワーが目印の「本館」。従来の正門レリーフ、イチョウとメタセコイアのシンボルツリー、校訓の石碑などは新キャンパス内に受け継がれる。本館には極めて耐震性の高い「ハイブリッド免震システム」が採用され、地域の防災拠点としても期待される。



防災設備を備えた新校舎は 自然エネルギーも活用



食堂に面した広さ約320㎡の「屋外庭園」。四季折々の樹木や花は雨水利用で栽培される。さわやかな風が吹き抜ける緑に包まれた開放的な空間は、休み時間や放課後は憩いの場として人気を集めそう。



自然エネルギーを積極的に活用し、総合的な環境に配慮した「エコスクール」を実現するため、屋上に120kW/hの太陽光発電パネルを設置。LED照明やオール電化システムの導入によりエネルギーコストを30%削減。また、雨水利用による節水、屋上庭園の緑化でCO₂の削減にも努める。

地域に信頼される学校を目指して
2014年度より、新校舎で新たな歴史がスタート